

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

6月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

病院事業に貢献した職員の表彰を行いました！

令和2年1月の国内感染者の初確認から続くコロナ禍により、日常生活や娯楽等は大きく制限され、医療従事者に重要な研修受講や自己研鑽まで制限されることとなりました。

そのような閉塞感を打破すべく、当センターでは令和2年度から「新たに病院事業に貢献した職員」を表彰することとし、職員のモチベーションの維持、向上に努めました。

今回、各所属長から令和2年度について3件の表彰推薦があり、表彰審査会において審議の上、いずれも妥当性が認められ豊永事業管理者から表彰状と副賞が授与されました。

表彰内容は以下のとおりです。

- ①地域健診室 看護師 原 沙織
「学会発表（演題：看護師を対象とした乳がん検診の啓発）」
- ②2階病棟 副看護師長 川口 文香
「学会発表（演題：地方の地域医療支援病院救急外来で行う短時間学習会の効果－気管挿管介助の不安を軽減するために－）」
- ③感染制御室 副看護師長 廣瀬 憲一
「新型コロナウイルス感染症に関する院内外への感染対策活動（感染対応の実施、職員への指導、院外における複数回の感染対策講義の実施、クラスター発生施設への助言・指導等）」

いずれの表彰事由も院内外問わず、多くの医療従事者等のスキルアップ、意識改革に繋がり、当センターへの貢献も大きなものとなりました。

今後も引き続き表彰制度を継続し、当センターの発展、更には鹿本圏域の地域医療充実に努めてまいります。

(文責：課長補佐 田尻 祐介)



①原 看護師 ③廣瀬 看護師 ②川口 看護師

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

- 職員表彰…………… P 1
- チーム紹介(糖尿病対策委員会)…………… P 2
- オリンピック聖火リレー…………… P 2
- 医療最前線…………… P 3
- 外来担当医表(6月)…………… P 4

糖尿病対策委員会の紹介

日本の糖尿病人口は、強く疑われている者も含めると約1000万人で、平成9年以降増加しています。これは日本だけの問題ではなく世界中で増加しており、WHOも11月14日を「世界糖尿病デー」として、糖尿病の予防や治療を呼びかけています。

当センターの「糖尿病対策委員会」は平成18年に発足し、当時は日本糖尿病療養指導士（薬剤師、管理栄養士、看護師）3名と代謝内科医師とで、「地域住民の健康への貢献」を目標に活動を開始しました。現在は常勤の代謝内科医師をはじめ、管理栄養士4名、薬剤師、理学療法士、検査技師、看護師10名（委員会内：糖尿病療養指導士9名）でチーム医療を行っており、入院患者さまに対してカンファレンスを実施し、教育指導に役立てています。

外来では、管理栄養士による栄養指導やフットケア外来、集団教育として糖尿病教室を年に2回開催し、チームとして糖尿病の患者さまの重症化の予防に取り組んでいます。また、当センターには眼科や整形外科もあり、症状に合わせた診療の連携も行っています。

糖尿病は一生、自己管理や治療が必要となってくる疾患で、高齢になると認知症のリスクとなることも報告されています。糖尿病性は合併症だけでなく様々な病気に関連しているため、知識習得や食生活改善等の発症前の対策と、発症後の重症化を予防することが重要となります。当センターでは外来から入院、退院後の自宅での自己管理までシームレスな関わりを、チームで取り組んでいきたいと考えています。

（文責：糖尿病対策委員会 北川 美加）

オリンピック聖火リレーが山鹿市で開催されました

今夏開催が予定されている東京オリンピックの聖火リレーが、5月6日(木)に山鹿市で行われました。コースは、山鹿市を東西に横断する国道325号の鹿本高校入り口を出発点、さくら湯前をゴールとする2.1kmで、感染防止のため声援ではなく手を振る市民等に見守られながら、先行パレードを含む聖火リレー隊が山鹿市を駆け抜けました。

ランナーは、世界ボウリング選手権大会シングルス戦で日本人初優勝を飾られた今井双葉さん、全国お茶まつり熊本大会や全国茶品評会で農林水産大臣賞を受賞された岳間製茶社長の中満房夫さん、3歳で高機能自閉症と診断されるも国内外の展示会へ出展し活躍されているアール・ブリュット画家の松本寛庸さんなど山鹿市在住の3名を含む14名で、コースに設定されたトーチキスポイントでそれぞれ聖火を受け渡し、無事に次の和水町へ引き継ぐことが出来ました。

新型コロナウイルスの流行により様々な行事やイベントが開催方法やその在り方について見直しを求められる中、様々な思いを乗せて引き継がれる聖火が暗く沈んだ社会を明るく照らす光となる事を祈っております。



医療最前線 (131)



外科

織田 枝里 先生

<はじめに>

昨年10月より山鹿市民医療センターに赴任し、緩和ケアと外科を担当させていただいてる織田枝里と申します。前任の佐藤医師の移動に伴い、4月から緩和ケア病棟長を担当することとなりました。現在当センターの緩和ケア病棟は13床あり、私をはじめ外科医師で対応していますが消化器領域に限らず様々な癌の終末期に対応しています。まだまだ未熟ですが、皆さまのお役に立てるように精一杯努力したいと思います。

<がん疼痛の薬物療法>

昨年7月にがん疼痛の薬物療法に関するガイドラインが改訂されました。大きな変更点としてはヒドロモルフォン、トラマドール塩酸塩の徐放製剤などの新規薬物が記載された点です。現在色々なオピオイドが利用できますがシステマティックレビューでは強オピオイド間の優劣は確認できなかったとのことで今回のガイドラインでは強オピオイド間においてはどれを選択してもよいとなっています。また、原発臓器や痛みの部位、種類によっても特定のオピオイドは推奨されていません。

経口剤、貼付剤、注射剤でそれぞれ自分の一番使いなれたものを使用しています。eGFR30未満の腎機能低下があればコデイン、モルヒネは可能であれば避けるように推奨されていますが、新規薬のヒドロモルフォンは注意して投与することを条件に推奨されています。その他、疼痛コントロールの際には痛みが強くなる前にレスキューを使用することを患者さまにはお伝えしています。痛くなるタイミングがわかっている場合(トイレやお風呂の前など)は予防的(約30分前)に内服することで痛みを予防することが大事とお伝えしています。痛みが強くなるとコントロールに時間がかかり、かなり強い痛みの場合は持続皮下注から始めた方が早く鎮痛効果が得られることがあり、投与量が決まったところで内服へ戻しています。

分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬を始めとするがん薬物療法は大きな進歩を遂げておりがん治療を継続する期間も長くなっています。がん患者であっても痛みの原因が必ずがんによるものとは限りません。オピオイドを漫然と使用すると依存形成されオピオイドの変更を余儀なくされるケースもあります。何による痛みなのかしっかりアセスメントを行い適切に対応することが大事だと思われまます。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

6月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※1 中嶋 直也 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 荒木崇土/中原達秀	工藤 智志 荒木 崇土 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 赤星 慎一 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 山村 謙介
乳腺外科	—	※ 未田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 非常勤医師	—	※ 非常勤医師	—
小児科	※ 石井 真美 9:00~16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※ 石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00~16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セン タク ー 器	耳鼻咽喉科	—	※ 非常勤医師	※ 非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渚美和子(午後) 6/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)、29(火)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	整形外科医	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 上野 茂紀

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。

当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。

※ 非常勤医師です。 ※1 第2、第4水曜日のみ診療となります。

特殊・専門外来

6月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	織田 枝里	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渚美和子	6/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)、29(火)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意: 学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>